

# 新婦人しんぶん

## 新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

## 今週の紙面

- 2面 女性ニュース
- 3面 読者のページ/乱楽パズル/まんが
- 4・5面 第192回中央委員会決定/会長あいさつ/討論まとめ
- 6面 食事情/子育て/時事
- 7面 女性働く/ホット/母の歴史



石川・輪島市 山下ひな子 (75)

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

# 米を守れ! 政府は主食の米に責任をもて

## 9・10緊急行動

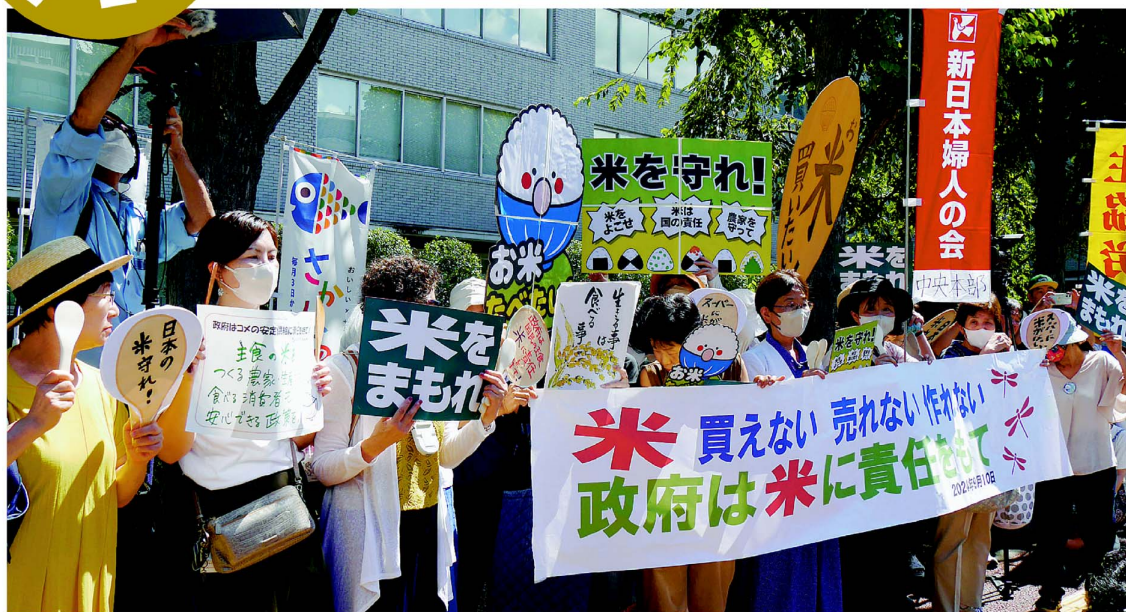
「お米が食べたい」「米を守れ」ー9月10日、炎天下に声を響かせました。店頭から米が消える異常事態に、政府は動きません。新婦人と農民連は、「政府は国民の主食・米の安定供給に責任を持って9・10緊急行動」を呼びかけ、国会内と農水省前で集会を開きました。

### 米不足は政府の失政

国会院内集会ではあふれんばかりの人がつめかけ、両行動に新聞社やテレビ局各社が取材に入るなど、関心を集めました。農民連の長谷川敏郎会長は、新米が出回り始めた今、米不足が解決するまで、米を買いだめするなどの対応を求めました。

「米不足は政府の失政」という農水大臣のコメントに対して、「新米を先食いしているだけで、根本解決にならない」と批判しました。いま日本で一番米を持っている政府に対し、「備蓄米を放出し、消費者が安心して食べられるようにし、抜本的に米政策、食糧政策を見直す時だ。政府は主食の米に責任を持って」と訴えました。

れ、地元国会議員や農政事務所に要請していると紹介。生産者、業者、消費者それぞれの立場から声をあげ、政府を揺り動かそうと呼びかけました。集会には日本米穀商連



農水省前で200人がしゃもじを打ち鳴らし、プラカードを掲げて声をあげた

新婦人の米山淳子会長は「店から主食の米がなくなると異常事態を招いた根本的な原因は、政府が毎年のように減産を農家に押し付けてきたことにあり、政府の失政だ」と指摘。新婦人は「お米の陳列・販売状況緊急チェック」にとり組み、770の回答や声が寄せら



▲農水省に要請書を手渡す米山会長

▶米俵を持ち込み、農水省前で集会。左は長谷川農民連会長

### 消費拡大に見合う方策を



日本米穀商連合会事務理事 相川英一さん

店から米がなくなってきたことに対しては、お詫びをしたいと思います。3・4月に米穀店から「米の仕入れがだいぶきつい」との話を受けており、農水省にも「なんとかしかないといいけないのでは」と何度も言ってきた。それでも国は何もしなかった。あのとき国が動いておれば、という気持ちでいっぱいです。国は南海トラフ地震

や昨年の不作を、米不足の理由にしています。それが違うのではないかと。今回のことをきちんと反省し、次にどうつなげるかが大事です。

長年の消費拡大の努力がいま美り、米の消費量は伸びていると感じます。国はこれを認め、次の方策を練っていくべきです。みなさまと一緒に運動していきたいと思えます。

### 軍事より国民の食を



主婦連合会常任幹事 平野祐子さん

主婦連はこの9月で創立76周年を迎える消費者団体です。創立当時から食の問題を大事にし、トレードマークは(漫画の)フクちゃんがおしゃもじを抱えています。おしゃもじは、食を守ること、悪政や悪をめし取るという意味があります。会合で、「政府、メディアに怒りを感じる」「農家さんと一緒にたたかっていくことも必要」との意見が出ました。食べていくことができないならば、国自体の根底が崩れていきます。政策に携わっている人は、軍事をいま一生懸命やっていますが、食がなければ軍事もありません。一番大事なのは食を守ること、自給率を高め、自分たちの国民を守ることです。みんなこの問題を解決していくことが大事だと思います。

9月28日号は休刊です

